

# 2025年度 事業報告書

(自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日)

## I. 事業の成果

山麓保全アクションプログラム(2002年)に基づき、森林が持つ公益的な機能を最大限に発揮する森づくりを目的に、活動に必要な資金や労力を山林所有者や行政のみに求めるのではなく、市民が自主的に一定の役割を担う「協働」の取り組みを継続しました。

山林所有者の山への関わりの低下や、増えすぎたシカなどによる森林生態系の劣化、気候変動に伴う集中豪雨や土砂災害リスクの増大、ハイカーの安心安全対策など、箕面の山を取り巻く今日的な課題に対して、国、府、市などの行政や市民団体とのネットワークを活かした情報の共有、意見交換を行いながら、課題に取り組みました。

山麓部の保全活動については、箕面市との「箕面の山麓保全のための協働協定」に基づき、山林所有者と市民団体に対する助成金交付事業および山林保全に関する広報PR事業、人材育成事業を実施。関連事業として、高齢化や遠隔地に居住しているなどの理由で山の手入れができない民有林にボランティアを派遣する活動などを行いました。その他、山麓委員会が独自で行う事業として、箕面ビジターセンターの企画運營業務を大阪府から受託し遂行しました。

## II. 事業の実施に関する事項

### 1. ネットワークを活かした協働事業 《ネットワーク事業》

#### (1) 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会との「協働」の活動

##### ① 協議会例会の開催

国有林及びその周辺を対象として、国・府・市などの行政と市民団体で構成する協議会の事務局を担い、自然休養林の保全と活用を目的とした協議会例会を年7回開催し、立場が違う主体による情報の共有化と意見交換を通じて、市民が中心となった自主的な活動を推進しました。

##### ② 自然休養林などの利用者の安心・安全やマナー向上のための活動

ベンチ製作などの活動を新たに「とどろみの森クラブ」に依頼し、新規5台、既存の補修2台を勝尾寺園地と箕面林道に設置しました。

新規に緊急ポイントの道標を7か所(粟生高原自然歩道に3か所、しおんじ山(池の谷緑地)周辺に4か所)設置、今回の設置で計174か所となりました。※別途しおんじ山周辺で案内板2か所を設置。

また、利用者のフィールドマナー向上と適正な利用促進のための日本語と英語による標語とピクトグラムを制定し、明治の森箕面国定公園や周辺の森の7か所に看板を設置しました。

##### ③ 生物多様性保全のための活動

増えすぎたシカによる食害から植生を守るために清水谷での活動を継続するとともに、大阪府生物多様性センターによるシカなどの野生動物のモニタリング調査に協力し、箕面の山パトロール隊、みのお里ぷら、清水谷をまもる会などによる自動撮影カメラの維持管理やデータ回収などを継続しました。

また、9月、エキスポ記念の森「花の谷」のビオトープで、特定外来生物「ウシガエル」の駆除活動を市民団体、行政職員あわせて20名で行いました。「ウシガエル」の駆除活動は2018年から継続して実施。

#### (2) 林野庁や箕面市観光協会主催の箕面の森を親しむイベント協力

森の癒しを体感してもらうイベント「みのお森のセラピー」を、林野



フィールドマナー看板  
(エキスポの森)



カメラの電池交換(パト隊)



林野庁「みのお森のセラピー」

庁箕面森林ふれあい推進センター、箕面市観光協会、箕面市メイプル文化財団「シニア塾」、大阪府高齢者大学の主催または共催で実施しました。

### (3) 「こもれびの森」での植樹など森づくりの活動

市民の憩いの場、水源かん養、土砂流出防止など「生活環境保全林」として、公益的機能の回復が求められている「こもれびの森（箕面市有林）」の整備を「協働」で取り組みました。

#### ① Aネット内下草刈り

10月、Aネット（防鹿用金柵、A・B・Cのうち）内のハイキング道沿いと植樹木の周辺の下草刈り作業を実施。活動には、箕面の山パトロール隊、みのおフォレストーズから8人に協力いただきました。



「こもれびの森」下草刈り作業

#### ② 植樹などの活動

3月、シカの食害などの影響で枯死してしまった植樹の補植（40本）と、苗木周辺の下草刈りや日照を遮っているアカメガシワやセンダンなどの高木の除伐、枝切りなどを行いました。

植樹活動には、山麓委員会のほか、箕面の山パトロール隊、箕面観光ボランティアガイド、箕面の森のきこり隊、みのおフォレストーズ、箕面生物多様性会議、箕面ナチュラルリストクラブ、清水谷をまもる会、箕面マウンテンバイク友の会と箕面市役所の担当職員を含む合計30人に参加いただきました。



植樹等活動の参加者

植樹の苗木は、できる限り地域性苗木とするため、公益財団法人京都市森林文化協会から購入しました。また、苗木の購入などの整備費用は、山麓委員会に寄せられた災害復興募金を活用しました。

▽ 今回植樹した樹種は以下のとおり

ヤブツバキ	9本	カスミザクラ	5本
ダンコウバイ	9本	シロダモ	4本
コバノミツバツツジ	7本	ヤブニッケイ	1本
カマツカ	5本	計	40本

### (4) 山麓部のハイキング道（里道など）の倒木処理についての協働の取り組み

2024年11月、箕面市役所公園緑地室および道路管理室（いずれも当時の部署名）と協議し、山麓委員会に寄せられる山麓部のハイキング道や里道などの倒木などの通報に対して、大径木や危険木の処理は行政が担い、市民ボランティアで可能な案件については、ボランティアが対応する「協働の取り組み」を確認。

2025年度に山麓委員会に寄せられた倒木通報は39件に上りました。そのうち、国や府、市の管轄を除く23の案件について、ボランティアが整備活動を行いました。



ハイキング道倒木処理活動

## 2. 山林所有者および市民団体支援活動 <みのお山麓保全活動助成金交付事業>

### (1) みのお山麓保全活動助成金の交付事務

箕面市の補助金規定に基づく助成金交付規則や交付審査会設置要綱に則り、2025年9月、2026年3月（2026年度前期交付分）に「みのお山麓保全活動助成金」審査会を開催し、交付を決定。

山麓委員会では、助成金申請書の受け付け、内容チェック、審査会資料作成、議事録の作成、箕面市への補助金申請書類作成などの交付に関する事務全般を行いました。

審査会の結果、交付承認された2025年度（2025年2月期および2025年8月期）のみのお山麓保全活動助成金は以下のとおり。

山林所有者への活動助成・・・計91件、9,675,800円（前年比1件、427,000円増）

市民団体への活動助成・・・計19件、2,041,000円（前年比1件、70,000円増）

また、前年度（2024年度）に山麓保全活動助成金の交付を受けた団体と山林所有者からの実績報告書について監査事務を行いました。

## (2) みのお山麓保全活動助成金活動報告会を実施

6月、2020年度以降中断していた、みのお山麓保全活動助成金活動報告会を5年ぶりに再開しました。助成金審査会委員の出席のもと、前年度（2024年度）に助成金を受けて活動した全18の市民団体が、助成金の使途と活動の成果や課題などについて報告を行いました。報告は3つのグループに分けて、グループごとに発表し、発表後、質疑応答を行いました。

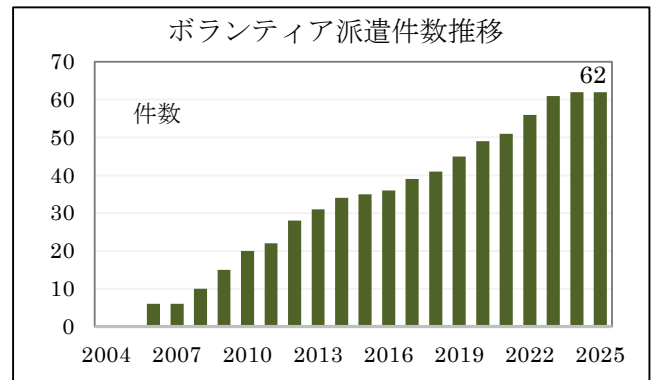


みのお山麓保全活動助成金報告会

## 3. 山林所有者との関わり強化の活動 《山林所有者関連事業》

### (1) 山林整備サポートボランティア派遣

山林所有者に代わって民有林の手入れを行う「2025年度山林整備ボランティア派遣」は62件（前年比増減なし）の要請があり、整備活動を6団体（みのお里ぶら、杜の会、箕面の森のきこり隊、みのおフォレストーズ、箕面マウンテンバイク友の会、今井水利組合）に委託し、延べ627人日（前年は549人日）のボランティアが倒木処理や除間伐などの整備活動を行いました。



### (2) 山林所有者の悩み相談

山林所有者を対象とした”悩み相談”チラシを「みのお山麓保全活動助成金」申請募集時などに配布。山林所有者からは、相続に関する相談やボランティア派遣の問い合わせなど、年間に延べ15件の相談がありました。

### (3) 山麓部私有林の現状と今日的課題に関する勉強会

1月、山麓委員会理事のほか箕面市担当者や山林所有者、山林整備ボランティアなど27人の参加による勉強会を実施。前年11月に山麓部の私有林所有者を対象に行った「保有する山林に関する悩みごとなどについてのアンケート調査」から見えてきた課題を共有し、これからの保全活動の在り方などについて話し合いました。

また、勉強会では「所有者不明土地問題」～問題の背景と受け皿の創出に向けて～というタイトルで、公益財団法人「東京財団」吉原祥子氏による講演も行いました。



私有林の現状と課題についての勉強会

## 4. 山で活躍するボランティアや活動団体の育成 《人材・組織育成事業》

### (1) 「みのお森の学校」による山麓保全活動の人材育成

人と自然の入門講座 第21期「みのお森の学校」（2025年9月開校～2026年6月修了（予）、延12日間、受講料1万5,000円）を開校し、21人（中途からの受講生を含む）が受講しました。



第21期みのお森の学校

### (2) 山林整備を担える人材の育成

年々増加する山林所有者からのボランティア派遣要請に応えるための人材育成を目的に、「山林整備ボランティア養成講座」を5月と10月に開催し、計12人が受講しました。



山林整備ボランティア養成講座

### (3) ボランティア活動の安全管理のための研修会開催

8月、2025年度に山林整備ボランティアとして参加するサポーターを対象にした安全管理研修会を日本森林ボランティア協会から講師を招き実施しました。今回のテーマは、「危険予知訓練=KYT」（危

除「K」、予知「Y」、訓練「Training」)。KYTは作業にひそむ危険要因を発見し、解決する能力を高める手法で、総勢34人が参加。参加者を5-6人ごとのチームに分けて、ワークショップを行いました。

#### (4) 「みのお森のセラピー」事業

箕面の自然とのふれあいは、市民レクリエーションの提供、健康増進に寄与しています。今年度は、箕面ビジターセンターでの癒しウォークのほかに、ネットワークを活かして、林野庁や箕面観光協会との連携イベントなどを実施しました。

また、2月に計画していた森のセラピーアシスターの養成講座は、受講応募者が最少催行人数に満たなかったため、翌期5月に延期しました。

### 5. 事業への参加や理解と協力を得るための活動 <PR・広報事業>

#### (1) ホームページ（山なみネット）による広報強化、及び情報公開

ハイキング道の安全情報などを中心に、「ブログ」を更新（147回/年）しました。あわせて、トピックスやイベントカレンダーの更新、みのお山麓保全活動助成結果のほか、箕面ビジターセンターのイベント情報などを発信しました。

#### (2) ニュースレター「山なみ通信」の発行

広く山麓保全活動に関する情報を発信するため、ニュースレター「みのお山なみ通信」を年4回（4・7・10・1月）延べ7,200部を発行、関係各所に配架するとともに山麓委員会会員や「箕面の森の守りびと」サポート会員などにDM発送を行いました。

#### (3) 啓発イベントの開催と出展支援

##### ① 「ふれあい広場 みのおの山と遊ぼう！」を開催

4月、みのおキューズモール1階ステージ広場で開催、近畿中国森林管理局（林野庁）箕面森林ふれあい推進センターのほか、12団体がブースを出展し、約1,000人の来場者で賑わいました。



キューズモールみのおの山と遊ぼう

##### ② 「みのお山とみどりのフェスティバル」開催

10月、箕面市からの受託事業「みのお山とみどりのフェスティバル」の一環として、生物多様性研究フォーラム「箕面の森の天然記念物オオサンショウウオとニホンザルの生息地」を船場生涯学習センターで開催しました。参加者は、市民のほか、隣市の生物同好会、天王寺動物園の職員の方、大阪市内の中学生など計67名。



生物多様性研究フォーラム

11月、箕面公園瀧安寺前広場をメイン会場に、「山とみどりのフェスティバル/体験フェア」を開催。箕面公園瀧安寺前広場では、親子で楽しむ自然素材を使った工作や木こり体験のほか、紙芝居の上演や音楽演奏など、24団体がPR広報活動を行いました。駅前箕面駅前ステージでは、1団体が活動紹介やチャリティバザーを行いました。両会場をあわせた当日のボランティアスタッフは139人、来場者は延べ約2,200人に上りました。また、滝道沿いの梅屋敷では、四季折々の美しい箕面の自然をとらえた写真展を行いました。



山フェス体験フェア

#### (4) 箕面市議会議員研修会で講演

5月、箕面市役所で行われた箕面市議研修会で、講師として、箕面の山パトロール隊とともに、箕面市市議のみなさんに、山麓委員会の役割や活動内容と箕面の山を取り巻く課題について講演しました。

## 6. 箕面ビジターセンター企画運営事業 《ビジターセンター事業》

大阪府から受託した箕面ビジターセンターの企画運営業務について、契約内容を着実に実施するとともに、明治の森箕面国定公園の拠点施設としての機能強化に努めました。

### (1) 自然解説活動

#### ① 自然解説員の配置

年 173 人/日の解説員を配置し、ハイキング道の案内や季節の自然情報などを発信しました。



箕面ダム見学会

#### ② 自然観察会などのイベント開催

自然観察会や工作教室などを、年間 35 回開催しました。イベント参加者は延べ 598 人、スタッフ数は 185 人でした。

11 月には、特別企画として「箕面川ダム見学ツアー」を実施。ダム周辺の自然を楽しみながら普段立ち入ることのできないダムの中の施設を見学しました。遠方から参加者もあり好評でした。

#### ③ 自然情報誌の発行

季刊誌「箕面ビジターセンターだより」を計 1 万部発行(@2,500 部×4 回)し、正会員や「箕面の森の守りびと」会員などにDM発送したほか、箕面ビジターセンター以外の公的機関などに配架しました。

### (2) 企画活動

#### ① 「友の会」(企画運営会議)の開催

年間 8 回、「友の会」(企画運営会議)を開催し、自然解説業務の企画検討を行いました。箕面ビジターセンターだよりや展示室企画、自然観察会、自然解説員の配置計画などの検討を行ったほか、自然情報やハイキング道の安心安全情報の共有化を図りました。

#### ② 小学生が作成した英語の動物図鑑を展示

箕面市立中小学校・北小学校 6 年生の生徒さんが、英語の授業で「動物と共に生きるために出来ることを考えよう」をテーマに、箕面に生息している生き物について調べ、英語の図鑑を作成、作品を館内展示しました。



小学生による英語生物図鑑

### (3) PR・広報活動

山麓委員会ホームページ「山なみネット」で、ビジターセンターのイベントや自然情報や安心安全情報を発信したほか、イベント開催チラシを作成し、各所に配架しました。

## 7. 事業推進について

### (1) 寄付金

山麓保全活動に共感していただいた個人や団体からの寄付金として、期中に 448,889 円を受領いたしました。また、別途、用途を「災害復興」に限定された寄付として、今年度 40,500 円を受領。前期預り金を含め 603,735 円から、災害復興を目的とした植樹用苗木や材料費などの購入費用として 268,698 円を活用、期末現在残高 335,037 円を預り金として計上し、翌期に継続して活用します。

### (2) 経理システムの変更

会計事務所から提供を受けてきた、既存の経理システム(A-SaaS)が2026年2月で取り扱いが終了となり、あらたに㈱エッサム社 e-PAP クラウドシステムに変更となりました。

(注記) その他の事業の実施はありません。